

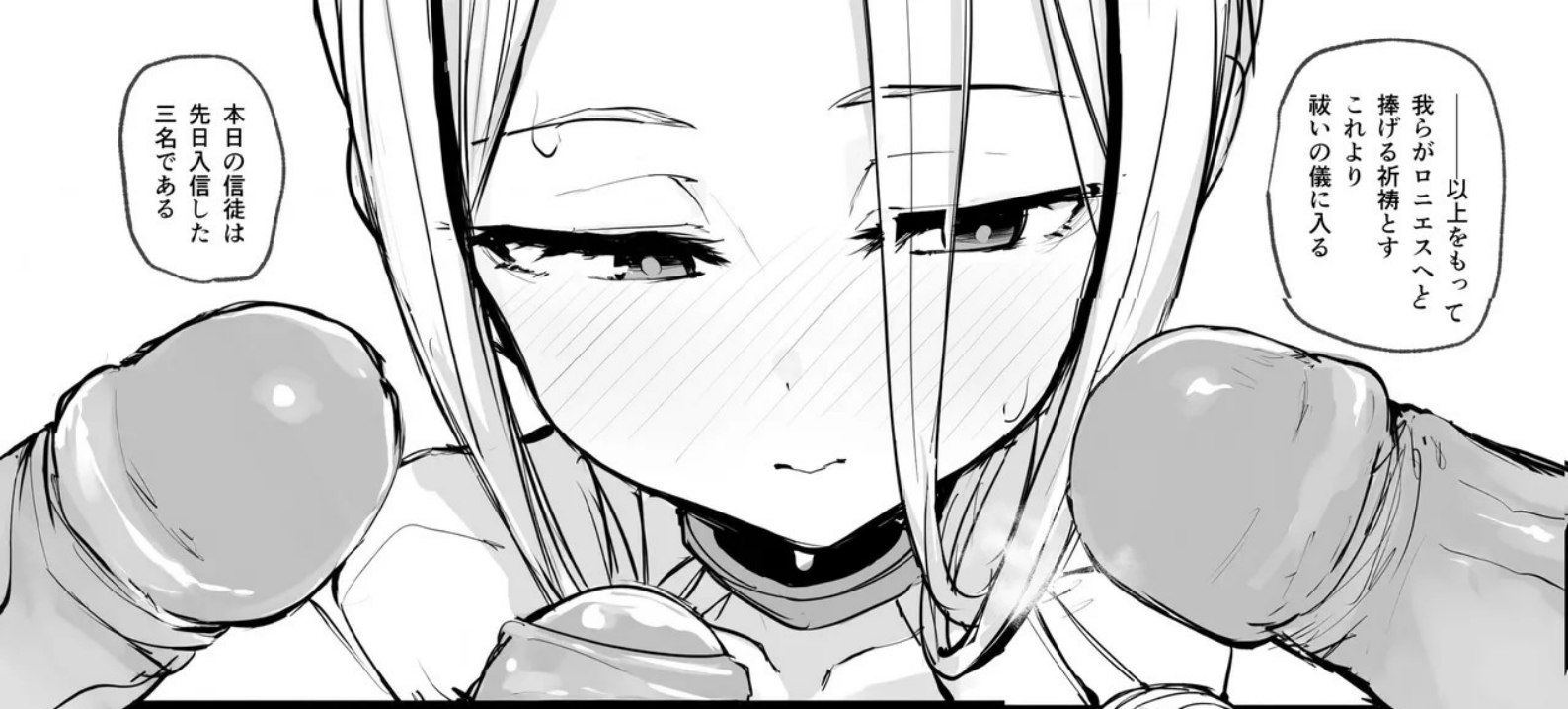


HEARTLESS

for adult only

以上をもって
我らがロニエスへと
捧げる祈禱とす
これより
祓いの儀に入る

本日の信徒は
先日入信した
三名である



ソニア
この者たちの穢れを
祓ってあげなさい

は…はい…
お師様…

失礼いたします…



6月4日
今日から日記を書きます。



孤児院の人が
書いてほしいって。



新しいおうちに
引き取られました。
フェルネ教？っていうのは
よくわからないけど
優しいおじいさんでよかったです。



でもお師さまが優しく
教えてくれるから
がんばれます。

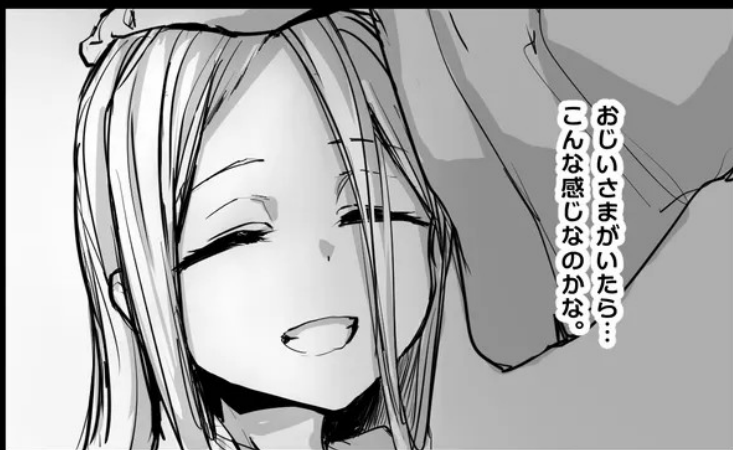


6月10日
お師さまはたくさん
のことを教えてくれます。
学問のこと。食事のマナー。芸術。言葉づかい。

フェルネ教の教えは
私には難しく
よくわかりません。
もっと勉強しなきゃ。



おじいさまがいたら…
こんな感じなのかな。



ソニア

君には穢れを祓う
特別な力があるんだよ









もし新たに穢れを
吐き出したくなっても
我慢をさらずに



それでは舌で穢れの塊を
落としていきます



れんふ...っ
受け止めまふ
ふっ...んっ.....



好きなほひに



吐ひらひへくらはい





お、お願いします！
僕：頑張りますから！

失礼します

？
はい……
？



うっ……！
舌で舐りながらっ
どんどん飲まれて……ッ

んあ、

んあ、



あはは



僕のモノが全部
巫女様の口の中につ

舌がうねっ...!
クッ... ああっ
で、射精ます!

しゃぽ



あ...あはは...
あつという間でしたね...
いつもこうなんです...

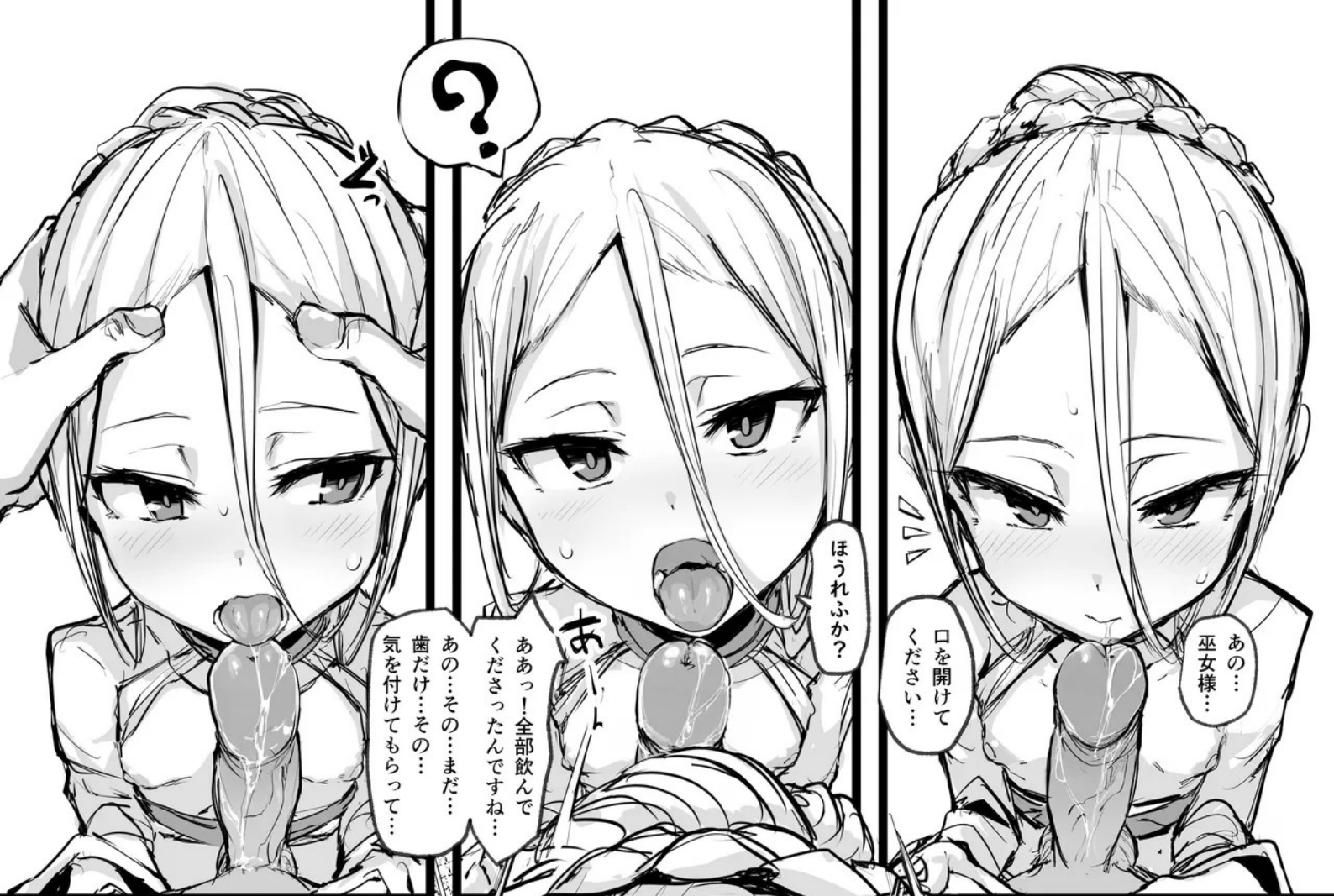


飲んでッ...!
全部飲んでくださいッ!

あはははは

あははは

あははは





巫女様の口っ
小さくてっ
吸い付いてきてっ
ううっ…！

お許しください！
お許しください！



おび



どうかこの者を
救い導きたまえ…



おお…
なんと乱暴な…
穢れが溢れておる



ケホッ...

ケホッ

ゲホッ
ゲホッ
ゲホッ

ギョッ

俺も...
お願いします!

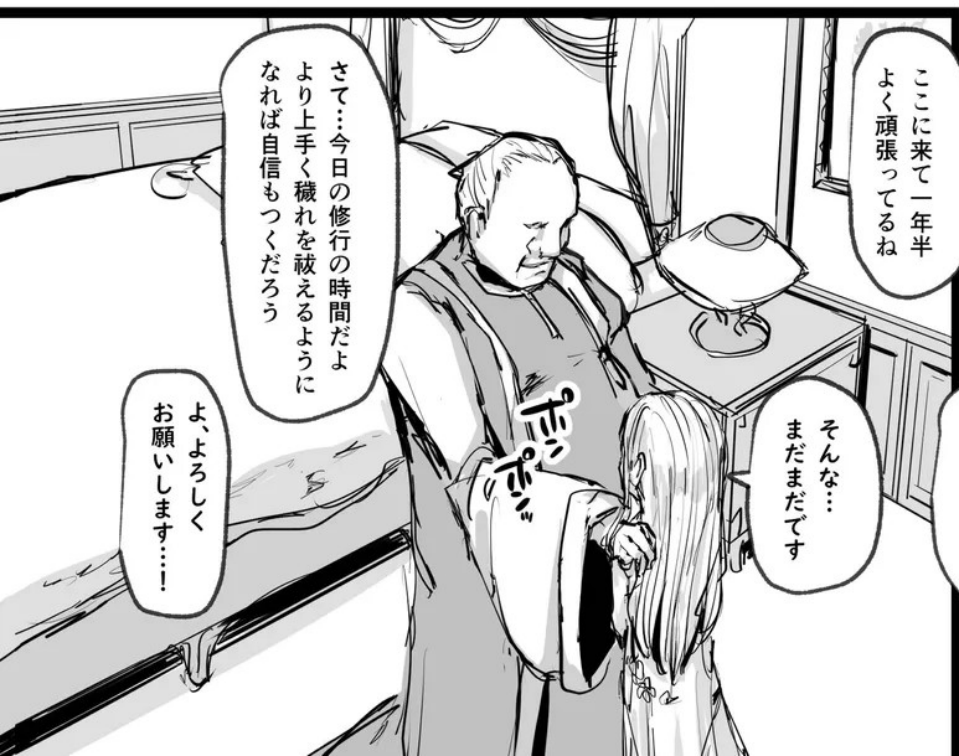
あの...巫女様...
再び穢れが...

と、取り乱してしまい
申し訳ございません...
改めてお願いします...



皆は我らがロニエス神が
お救いくださることだろう

祓いの儀は滞りなく終了した



さて…今日の修行の時間だよ
より上手く穢れを祓えるようにな
れば自信もつくだろう

よ、よろしく
お願いします…!!

ここに来て一年半
よく頑張ってるね

そんな…
まだまだです



今日もよくやってくれたね
全て君のおかげだよ ソニア
途中激しくされていたが
大丈夫だったかい？

あの…
いえ…なんでも…



まずは挨拶の練習から。
口でふれると穢れが
出ていきやすくなるそうです。



6月12日
検査でいろんなところを触った後
穢れを祓うための修行が始まりました。

もう十二月か
どうりで
寒いわけだ
暖めておくれ

はい...お師さま

はは

ちゅ...ちゅ

ちゅ...ちゅ

ちゅ...ちゅ

ちゅ...ちゅ

はは

はは



7月17日
今日も口で穢れを
祓う修行です。



すん
すん

おちんちんの
変なおいは穢れが
大きいほど強くなるみたい。

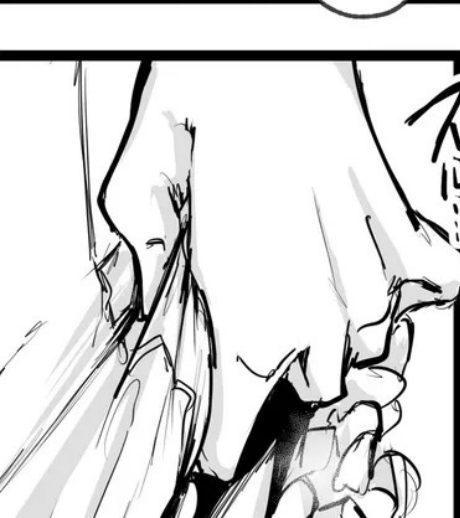
は、はい……!

まずは挨拶から
教えたとおりに
できるね



おちんちんも
穢れも変な味……
あごも痛いです……

君のほうは
どうかな
見せてごらん



おん

もうすっかり
慣れたものだ
良いだね



もう少し念入りに濡らしておこう
気持ちいいだろう

8月9日



ふむ少し濡れている...
身体が穢れに敏感になっ
てきているね

でも穢れが出ていくときのお
師さまはとも気持ちよきさう...
ちよっと嬉しいかも。



夜からはお師さまと私だけで行っ
「折りの修行の説明を受けました。
でも...



よし
おいで

ここまで
挿入るからね



ほんとにお師さまのおちんちん... 私の中に入るのかな...

素晴らしい修行の成果だね

しかしここからだ

これから毎日お師さまがお薬をあそことお尻に塗り込んでくれます。

オチンチン

ギョッ
ギョッ
ギョッ

ガッ

おちんちん...

ガッ

ガッ
ガッ
ガッ

ガッ

ガッ

ガッ



明日も二人の信徒の方の
穢れを祓います。
これからがんばらなくちゃ。

すぐッ果てて
しまいそうだった



こりゃあ
いかんッ



8月12日

受け止めて
おくれッ



このまじら
何だか少し寂しい…
変な気持ちです…
ホームシック?って
いうみたいです。

さあ
綺麗に
しておくれ

シーチェ…
ママ…
みんなも
元気かな…?

自分から
腰を振って…
指を離して
くれないねえ

私は新しいおうちで
お師さまと
仲良く暮らしてるよ…。





今でも少し記憶が曖昧です。
でもいつまでも
くよくよしては
いられません。

んっ…



今度は自分で
挿入れてごらん

はい…



みち

12月3日
今日の信徒の方は
少し乱暴な方でした…。
きつと穢れの影響だと思えます…。



夜からは初めての
祈りの修行です。

みち…

みち…

みち…

みち…



始めはすごく痛いし
全然入らなくて
泣きそうでした。

じきに慣れる
そうですが…
ほんとかな…?

挿入り…っ
ました…♡

いい子だ



なんとか無事に
終えることが
できました。

次も…
わかるね?

ここまでたっさんの
祝福をいただいた
おかげです。

6月4日
今日でお師さまに
引き取っていただいて
1年が経ちました。

自分のペースで
いいんだよ

びびり

びびり

びびり

この頃はおちんちんを
嗅いだだけで
頭がぼーっとして
おまんこも濡れてきます。

心身共に巫女としての
自覚ができてきたんだと
思います。

そう
その調子

動…きます…っ

びびり

おおっ
おおお!
なんと
力強い腰使いっ

お師さまのおちんちんは
とても遅く
繋がると私のお腹ごしに
どこまで入っているか
わかるくらいです。

今日も祈りの修行中
何度もイッて
しまいました…。

細かに震えて…っ
腰を打ち付ける度
達しているのだね

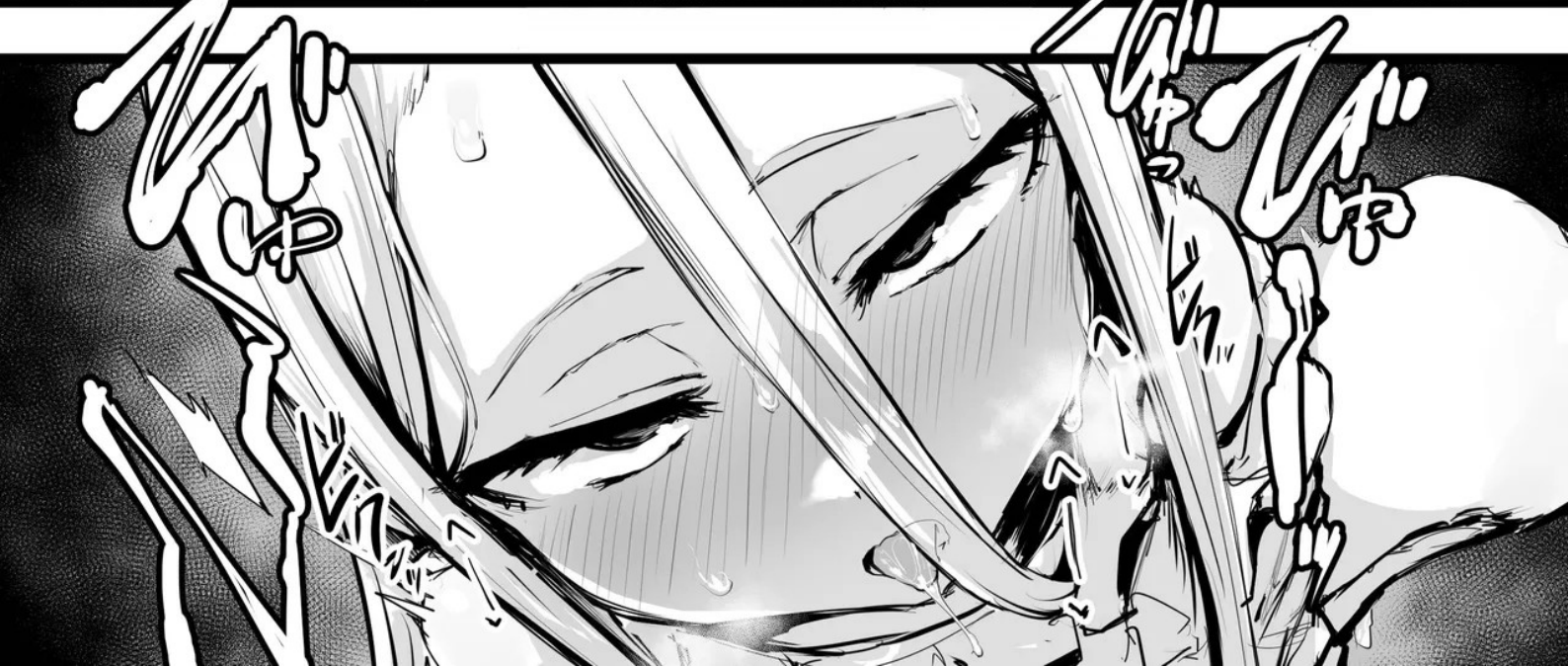
実に
いじらしく
愛らしいっ

くっ



膣壁が
吸い付いて
しごき上げて
きよるっ

射精すっ
射精すぞおっ



私の中に穢れを吐き出すとき
お師さまは何度もキスをしてくれます。

はぁ
はぁ
はぁ

はぁ
はぁ
はぁ

はぁ
はぁ
はぁ

はぁ
はぁ
はぁ

少し苦いけど
大好きな味です。
こんな日が
続きますように…。

6月5日

さあ
お尻に向けて

ふぁ…



今日は今までずっと
準備していたお尻で
お師さまの
お相手をしました。

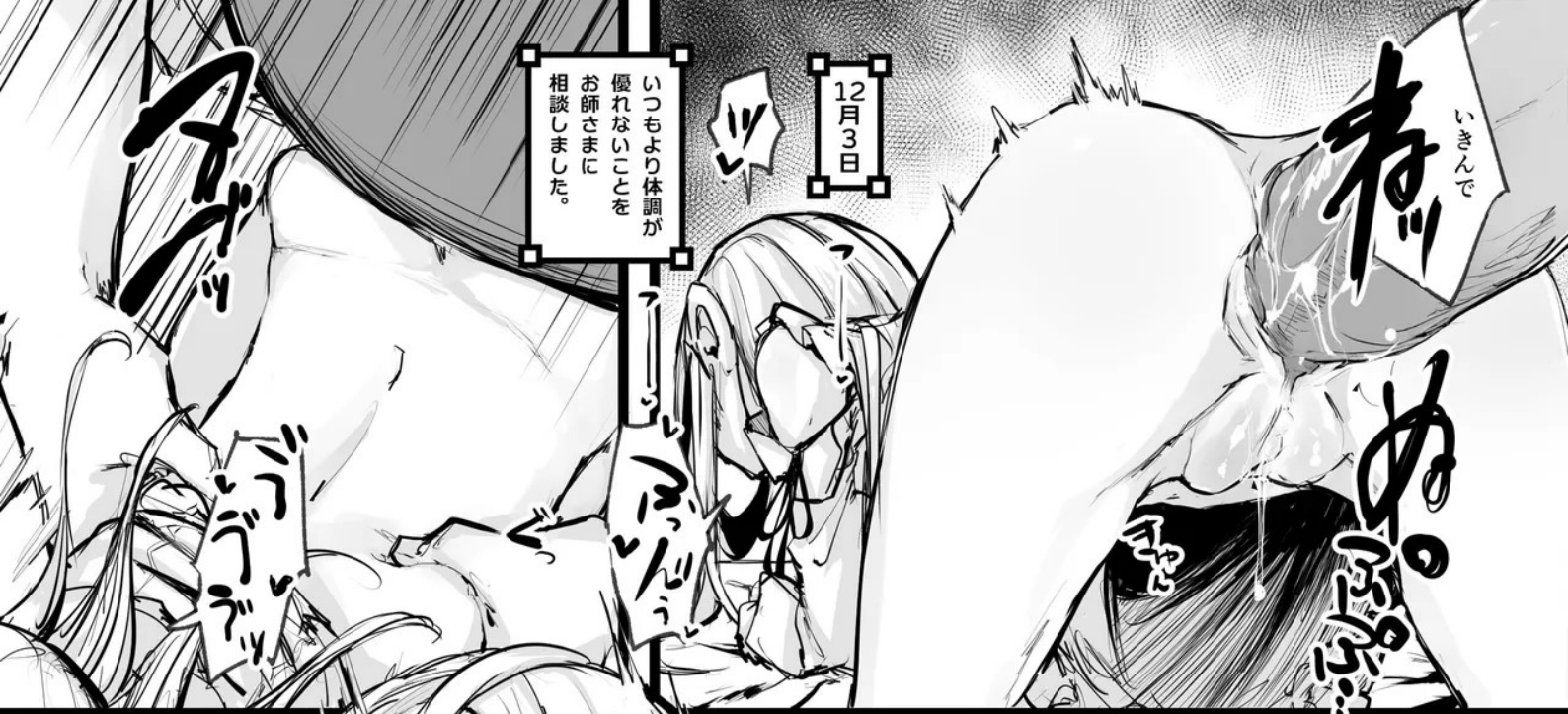
準備は
してあるね？

外側から
気持ちいい場所を
擦られるような
焦らすような
刺激があります…。

はい…っ
キレイに
してあります

お尻でするのも
好きになって
しまいました…。

それじゃあ
挿入れてくから



いきんで

めろ

12月3日

いつもより体調が
優れないことを
お師さまに
相談しました。

するとお師さまは
穢れの真実を
教えてくださいました。

根元までっ
啜えこんで…ッ

丹念に準備した
甲斐もあった
というものっ

人は穢れより
生まれ出するものと。



あー

めろ

めろ



めろ

あー



不浄の穴までッ
こんなにも
こなれてっ

お師さまの穢れを祓うとき
おちんちんから感じる力強さも
快楽に呑み込まれそうになるのも
あのとき感じた温かさも。

そこに命の輝きが
あつたからなのですな。

もうすっかり
一人前の巫女だっ

大好きなお師さまとの
子を授かるなんて…。

しっかり
受け止めるんだよっ

本来人と穢れは
切っても切り離せぬ
ものというところを。



おん
おん
おん

おん
おん
おん

おん
おん
おん

おん
おん
おん



今日もよく
頑張ったね

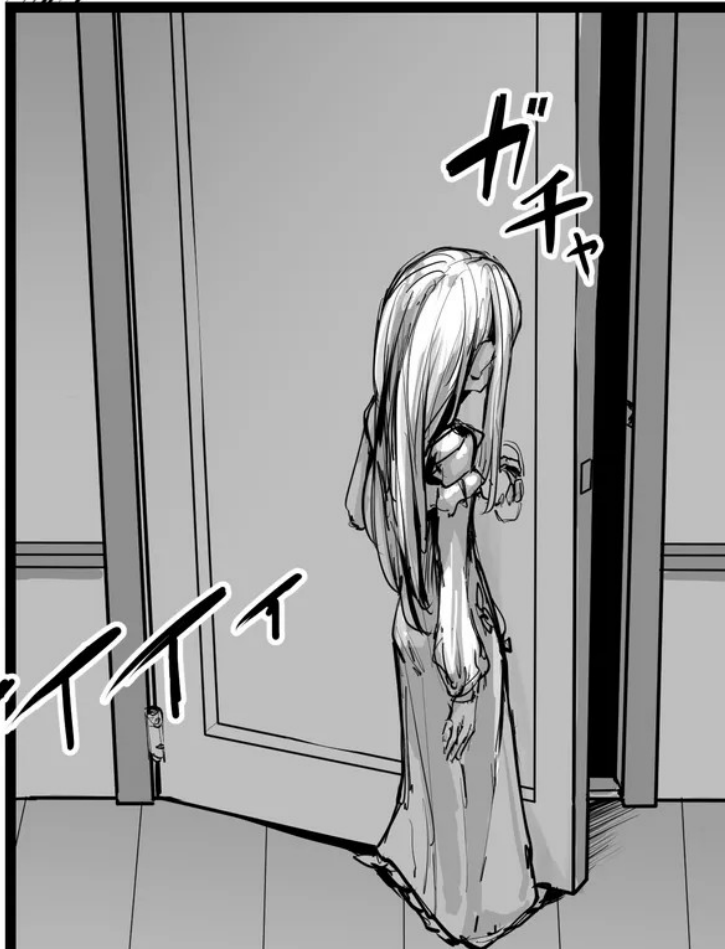
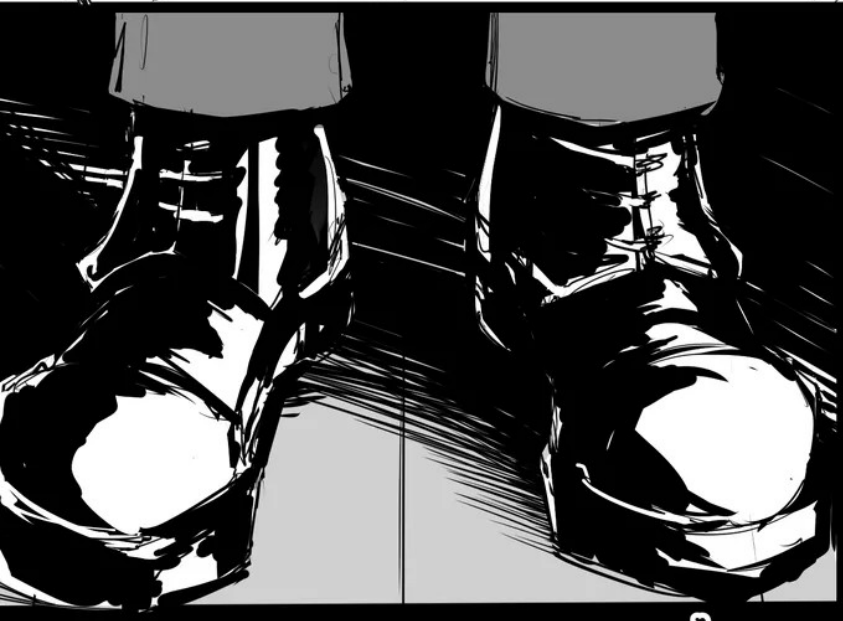
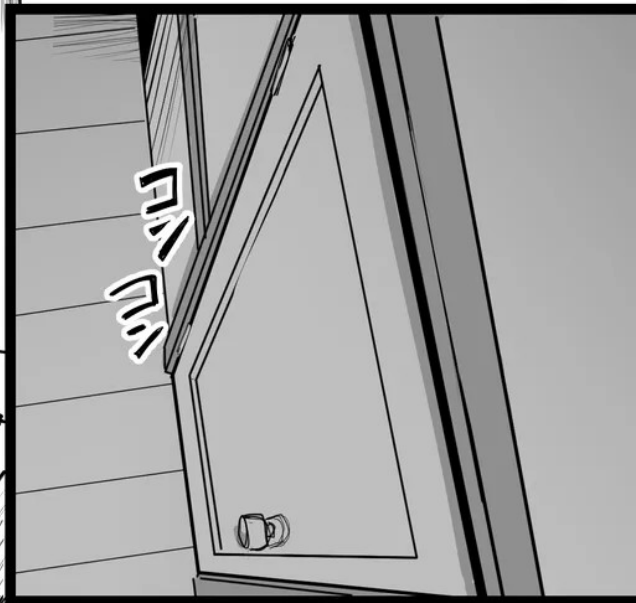
自室へ戻ったら
ゆっくりお休み

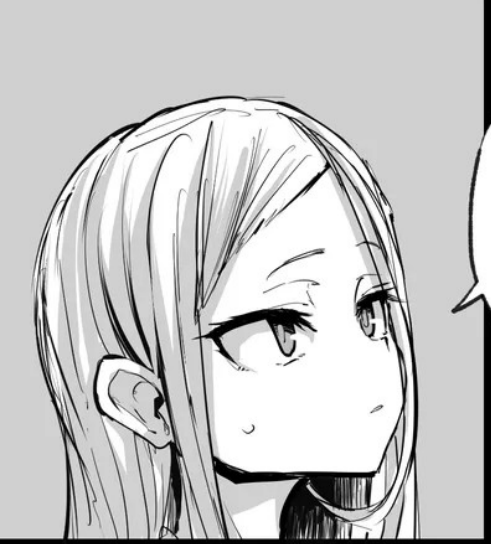


もうこれからは
一人だけの身体じゃ
ないのだから：

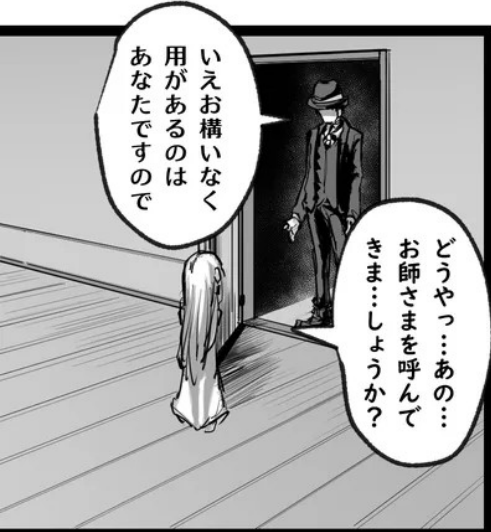


12月4日:





孤児院の…?



いえお構いなく
用があるのは
あなたですので

どうやっ…あの…
お師さまを呼んで
きま…しようか?



どうも



あ…
というかもう
こんな格好



…?

一年半…
時期尚早…ですが
優先事項の準備が
整いましたので



日記は…
ちやんとつけている
みたいですね
結構



する必要
無いですねー

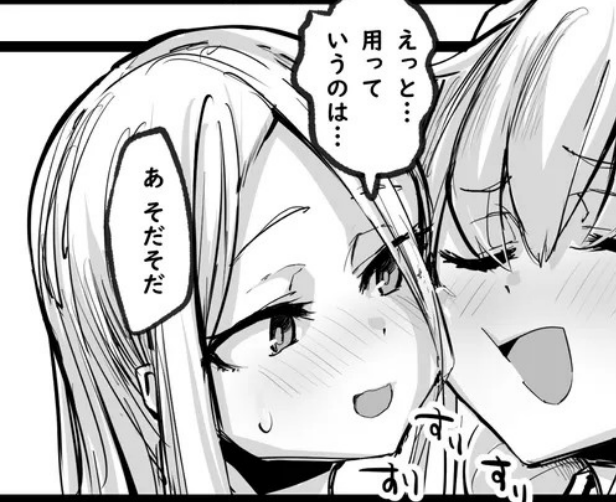


んー？
そう見えた
だけですよ



え？あの…
男の人じゃ…？

あーん！
元気してましたー？



えっと…
用って
いうのは…

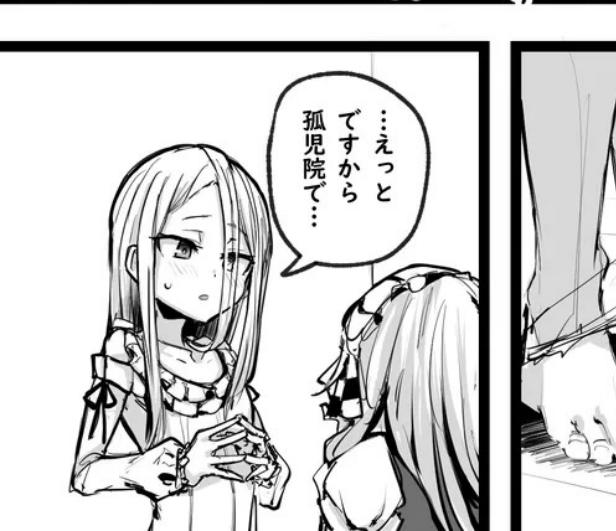
あそだそだ



この時期はすぐ
背伸びますねー



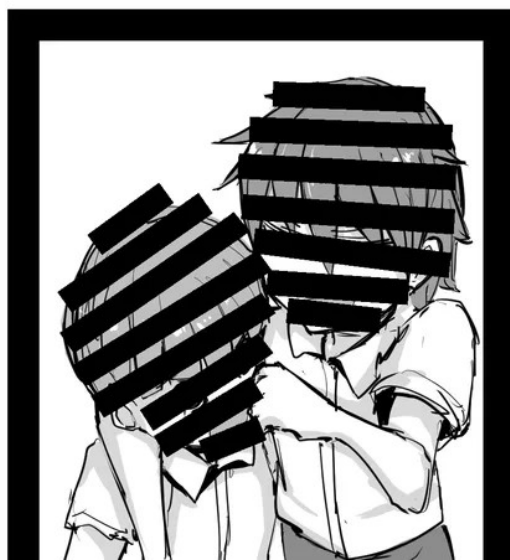
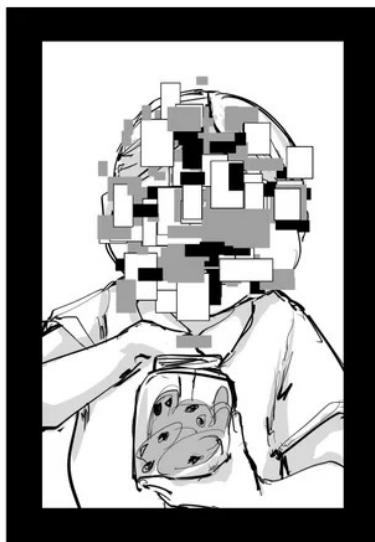
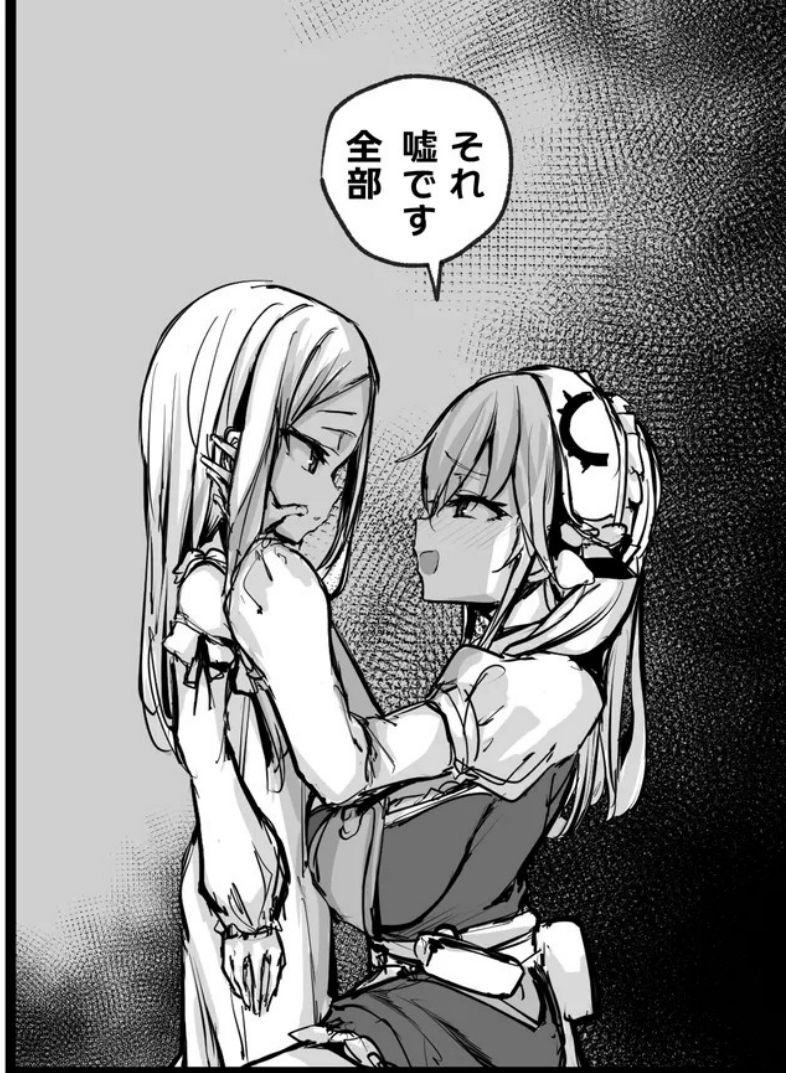
ブッフ
びゃって！

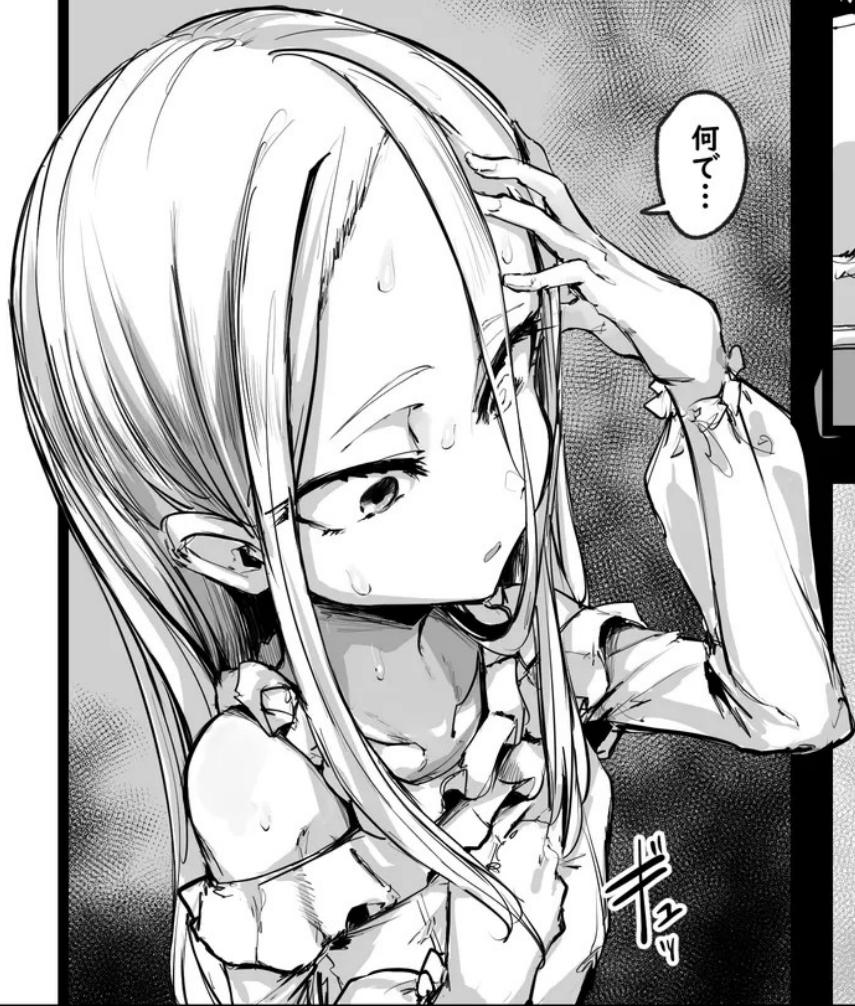


…えっと
ですから
孤児院で…

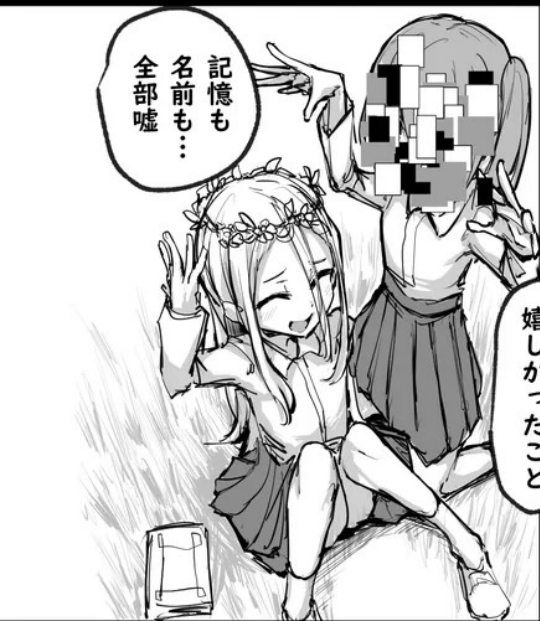
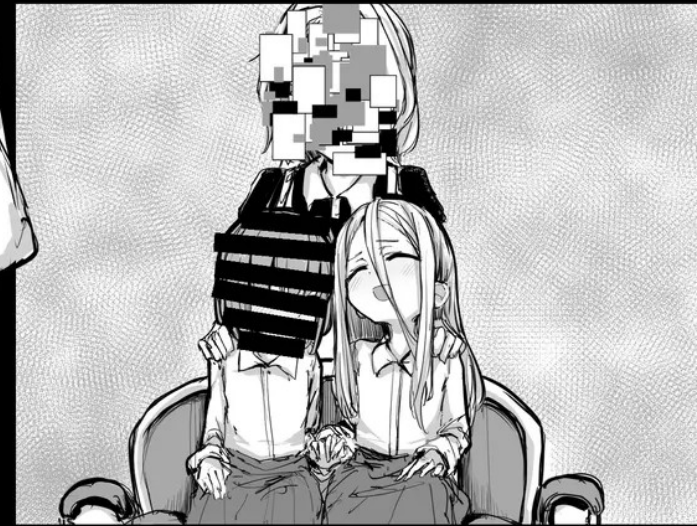
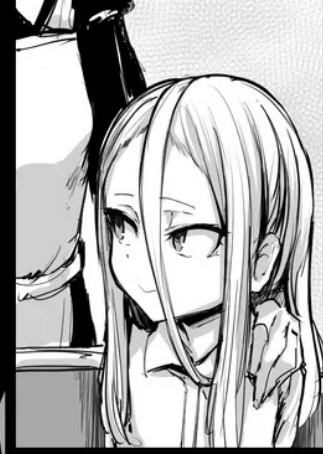


よいしょと
ここに来る
前のこと
憶えてますか？





何で...



記憶も
名前も
全部嘘

嬉しかったこと



悲しかったこと



あなたがここに
来る前に
思い出せること
すべては嘘

嬉しかったこと



わたし...
私...



そういう人が居た
そういうことが起きた

ただ「あった」
という認識が
あるだけ

私は
誰なんですか…？

あなたは可能性

まっさらなあなたが
ここで何を望まれ
何を得て
どんな色に染まるのか

あなた自身が
知りたがって
いるんです

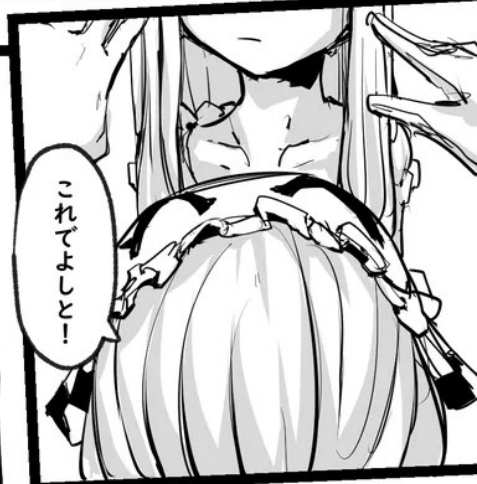
…目を閉じて？



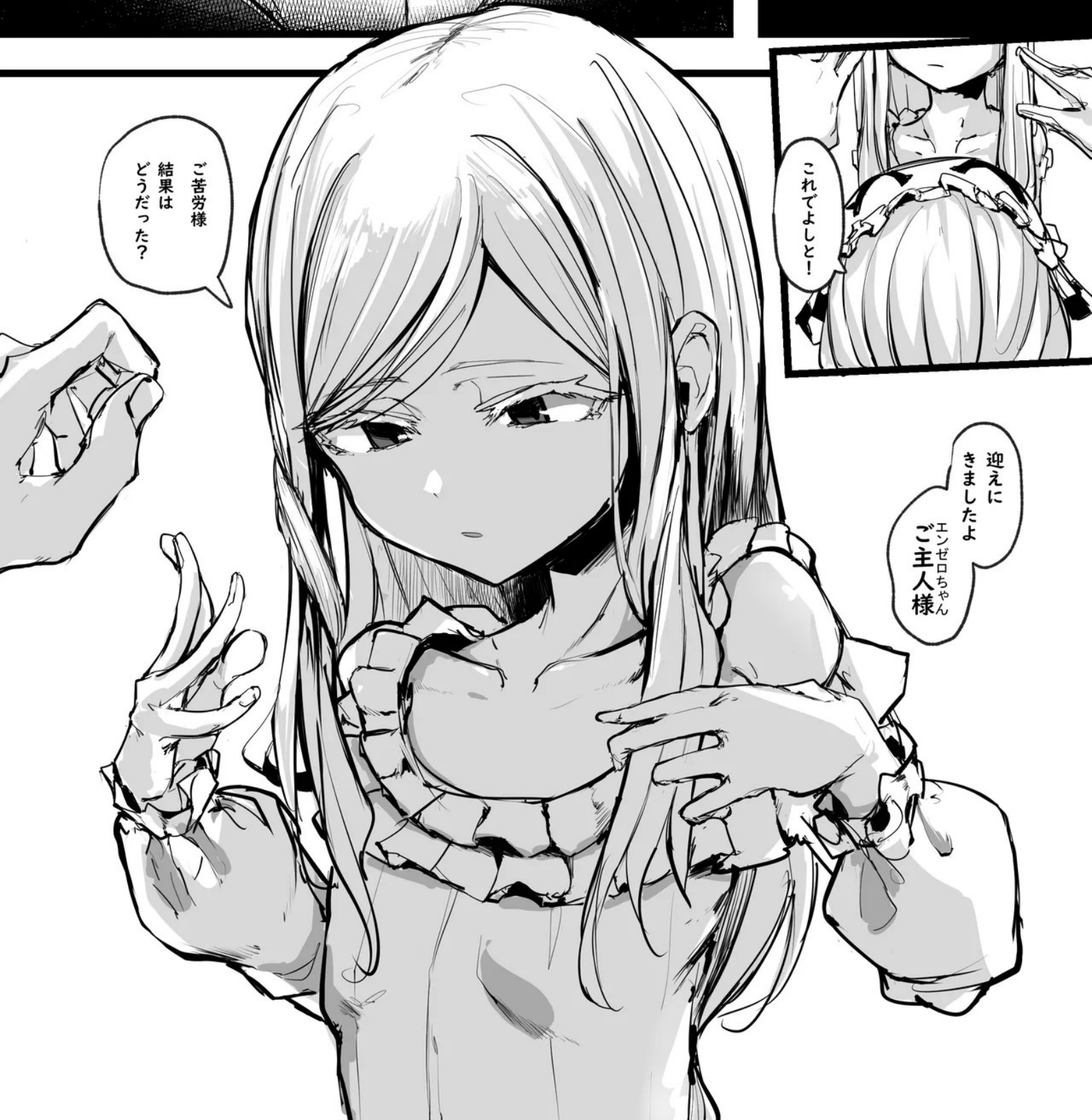
えーと
髪はこんなんでー

あ
目ももう隠さなくて
いいですね

とっちやおー



これでよしと！



迎えに
きましたよ
エンゼロちゃん
ご主人様

ご苦労様
結果は
どうだった？



あとは面白そうなのが世界中らほら
まあ全部ベル君が調べたんですけど！

不憫だわ…
まずは…御四季からかな

伝えときまーす
で、どうでした？

ん？何…ああ
ただの欲まみれの畜生だったよ
…どうせ見てたでしょ



せっかくそれっぽい雰囲気作ったのに
淡々としてますねえ

さっきまでの可愛げはどこへ…

あるわよ
目の前に



えっと次の候補地はですなー

御四季、アツシユカバード
このあたりは史実どおり
ほぼアレが関わってます



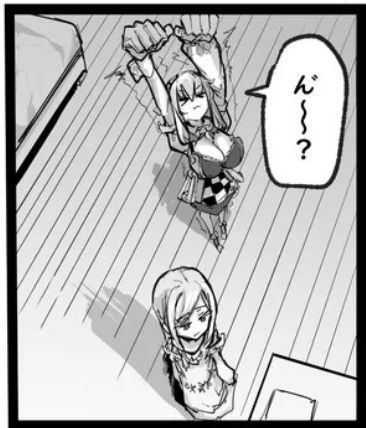
…戻ろうか

一年半前に



本音と建前

8..2



ん…？

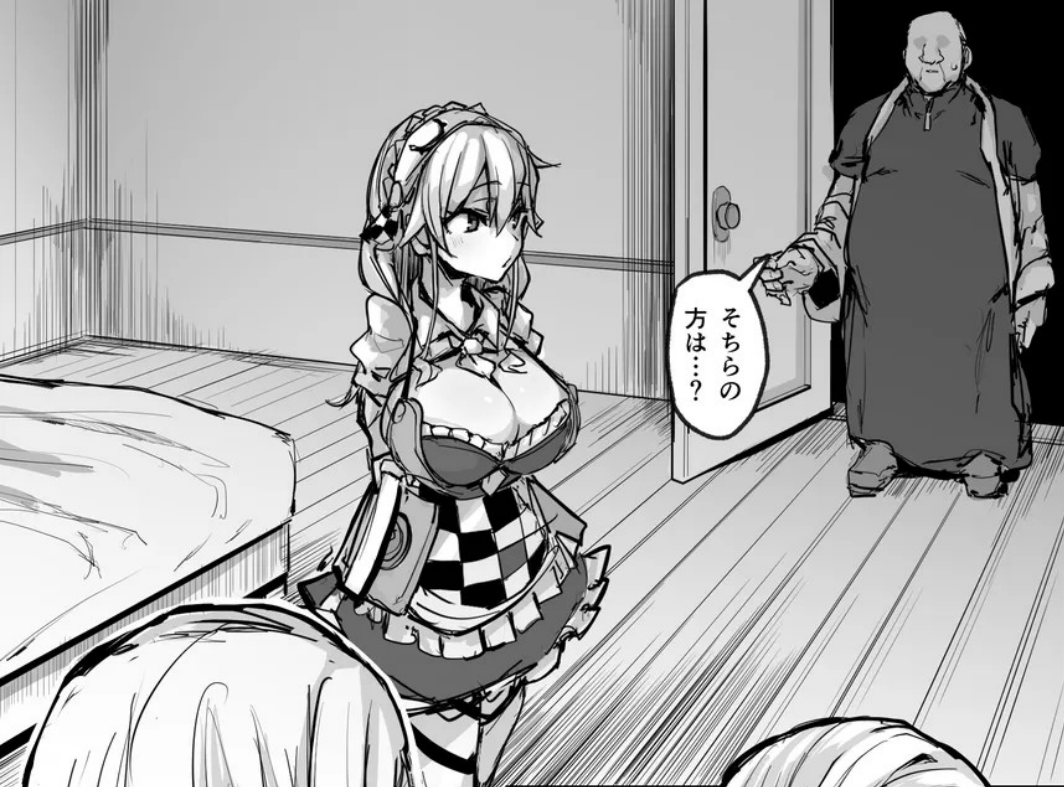


まだ完全には私と私との間で折り合いついてないから…

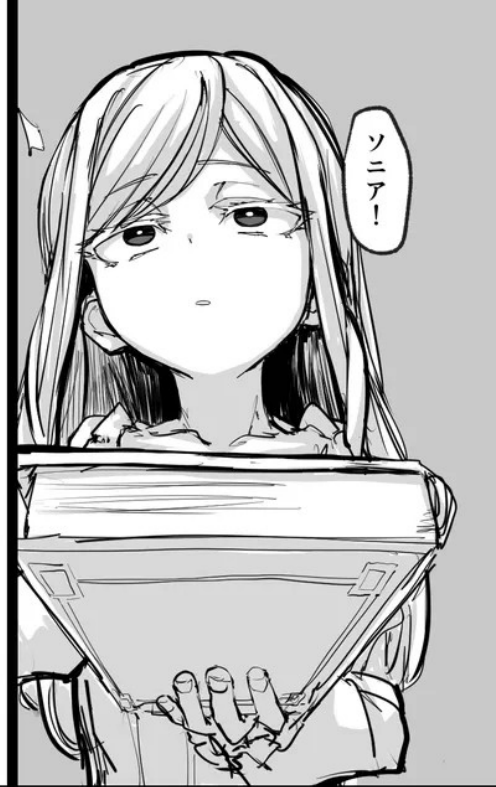
たった一年半でも無地の私にはあいつが世界の全てだったのよ

そういうもんですか

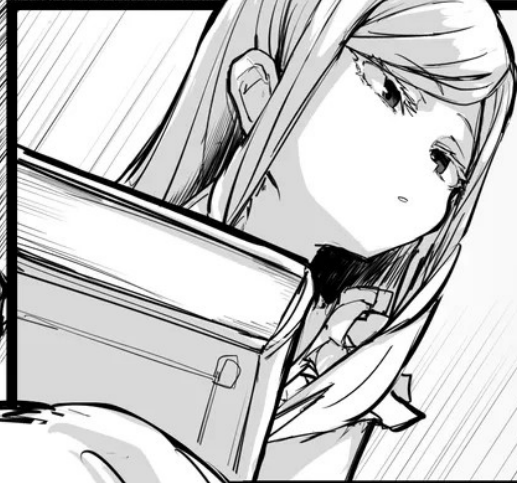
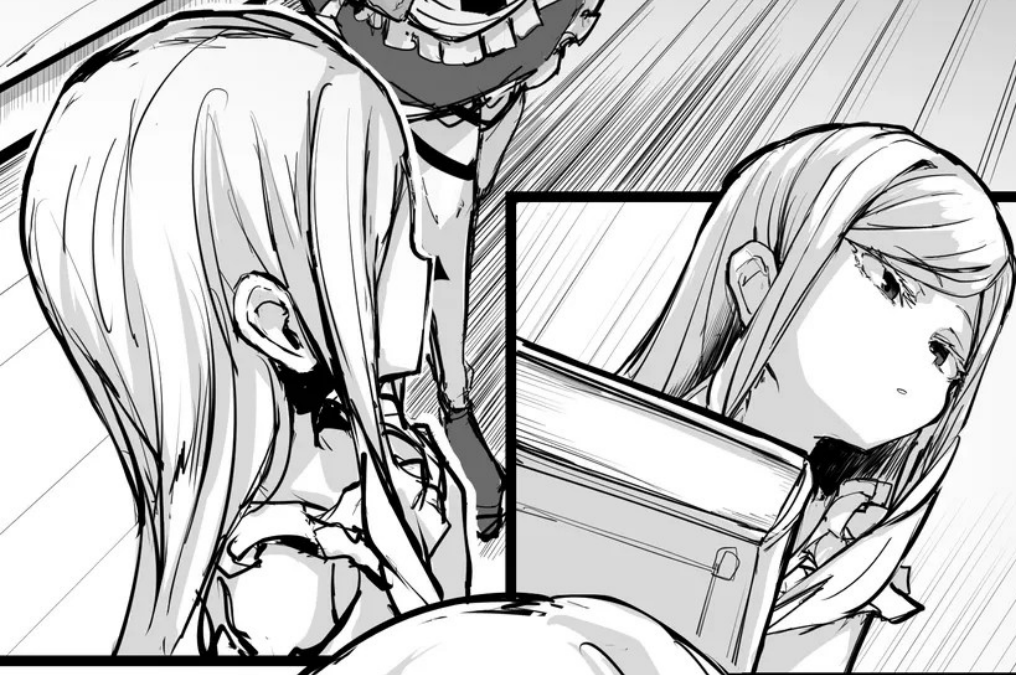
そういうもんみたいいつもそう



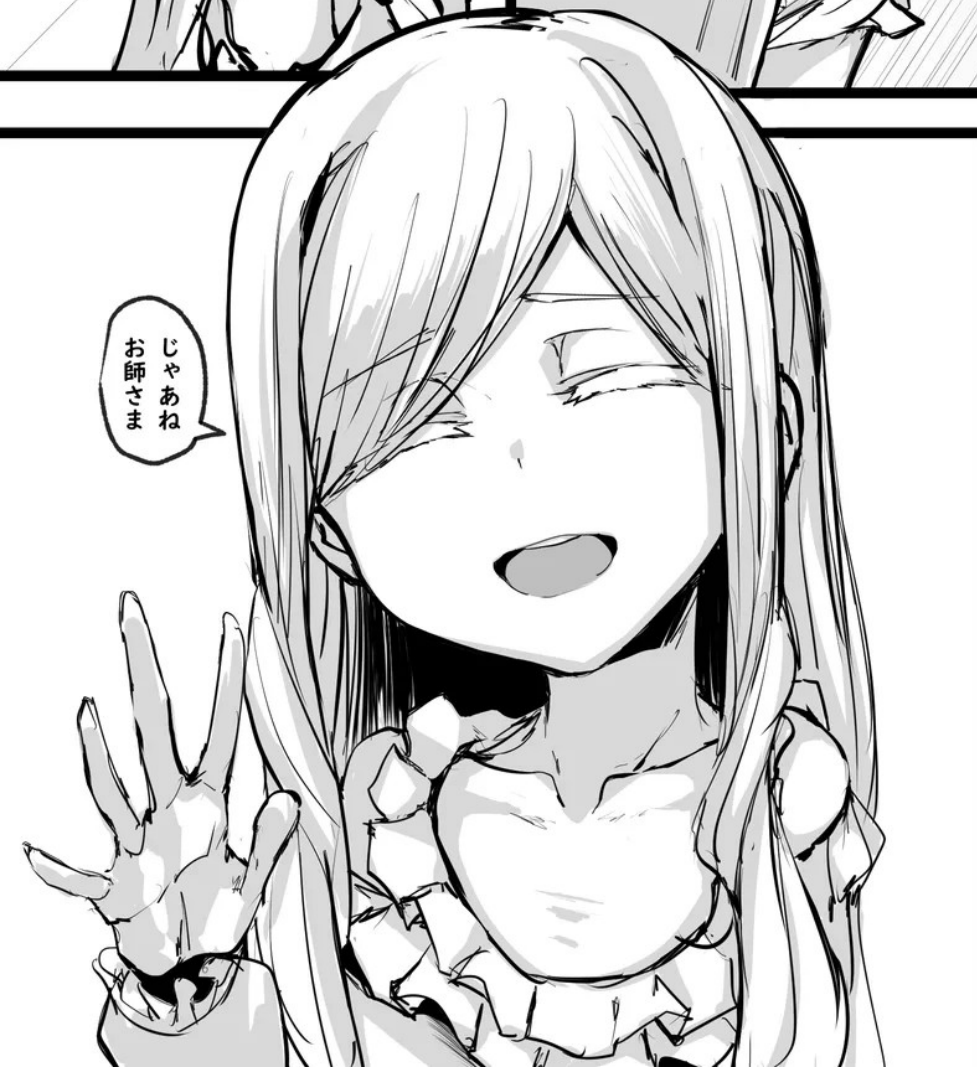
そちらの方は...?



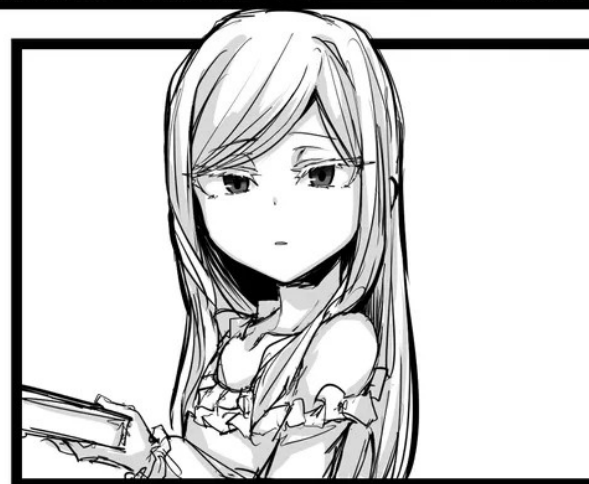
ソニア!

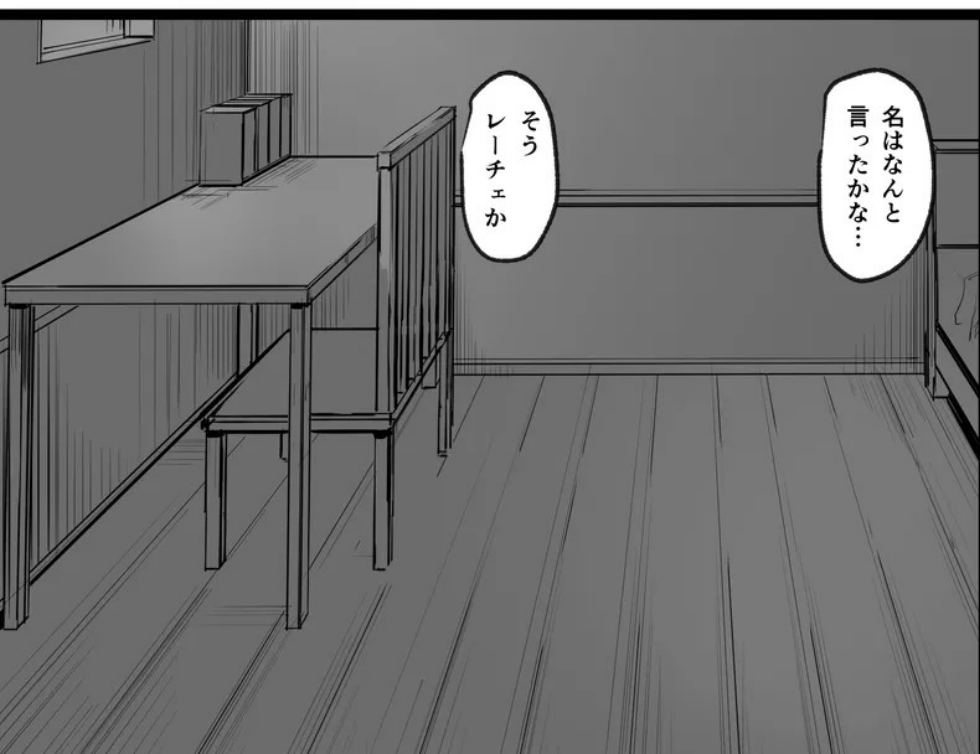
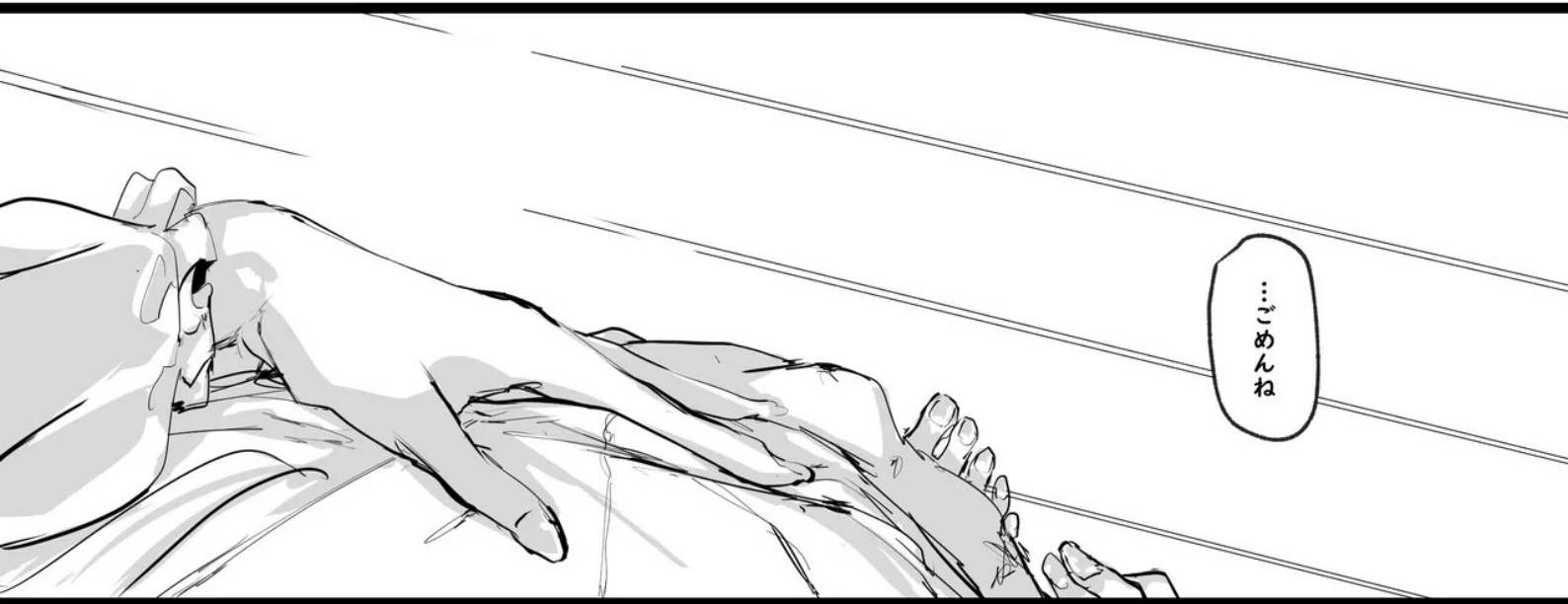


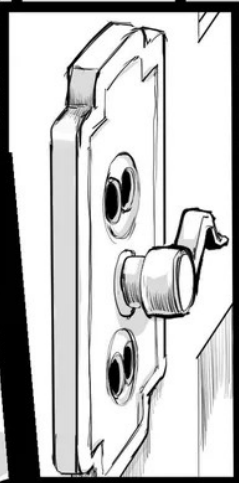
っ!その眼はどうしたんだい!?



じゃあね
お師さま





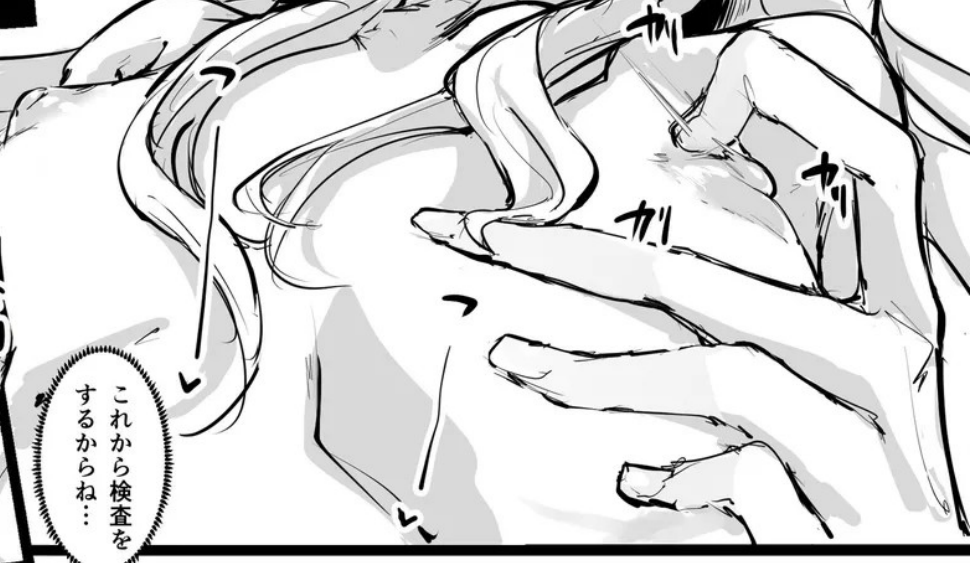


ソニア...

あ……
お楽しみを

ん……
ちよつとこれ
置いてくるから

ん、帰ってきた
我が家!



これから検査を
するからね……





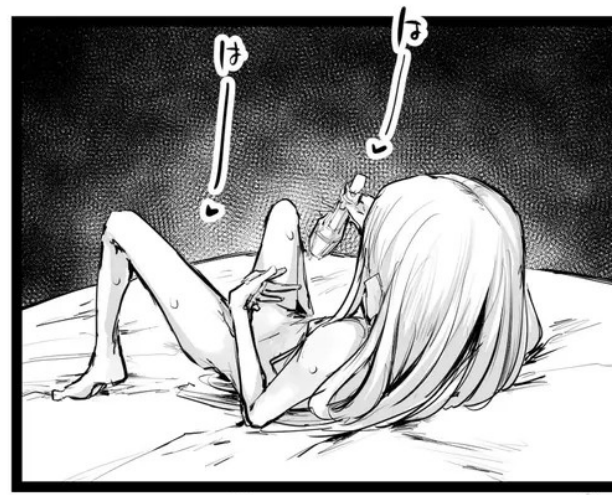
私たちの
穢れを…!

どうか私の…



巫女様…

巫女様…





おめでとう

おめでとう

おめでとう

おめでとう

おめでとう

私だけの...!

おめでとう

ソニア...!

ソニア!

おめでとう

おめでとう

おめでとう
ソニア

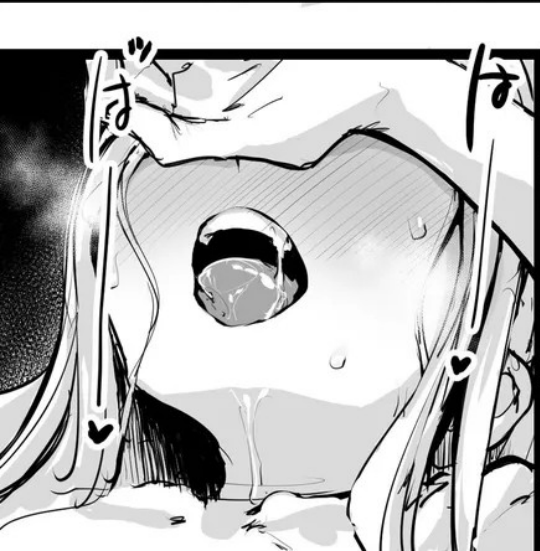
君は私の子を
孕んだんだよ

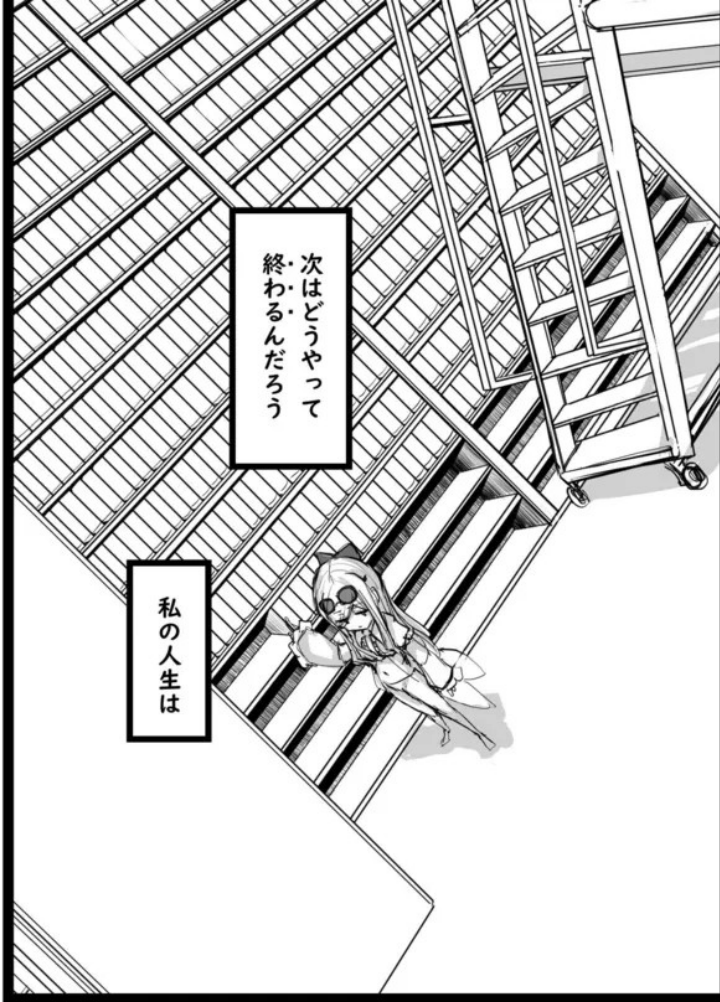
おめでとう

おめでとう

おめでとう

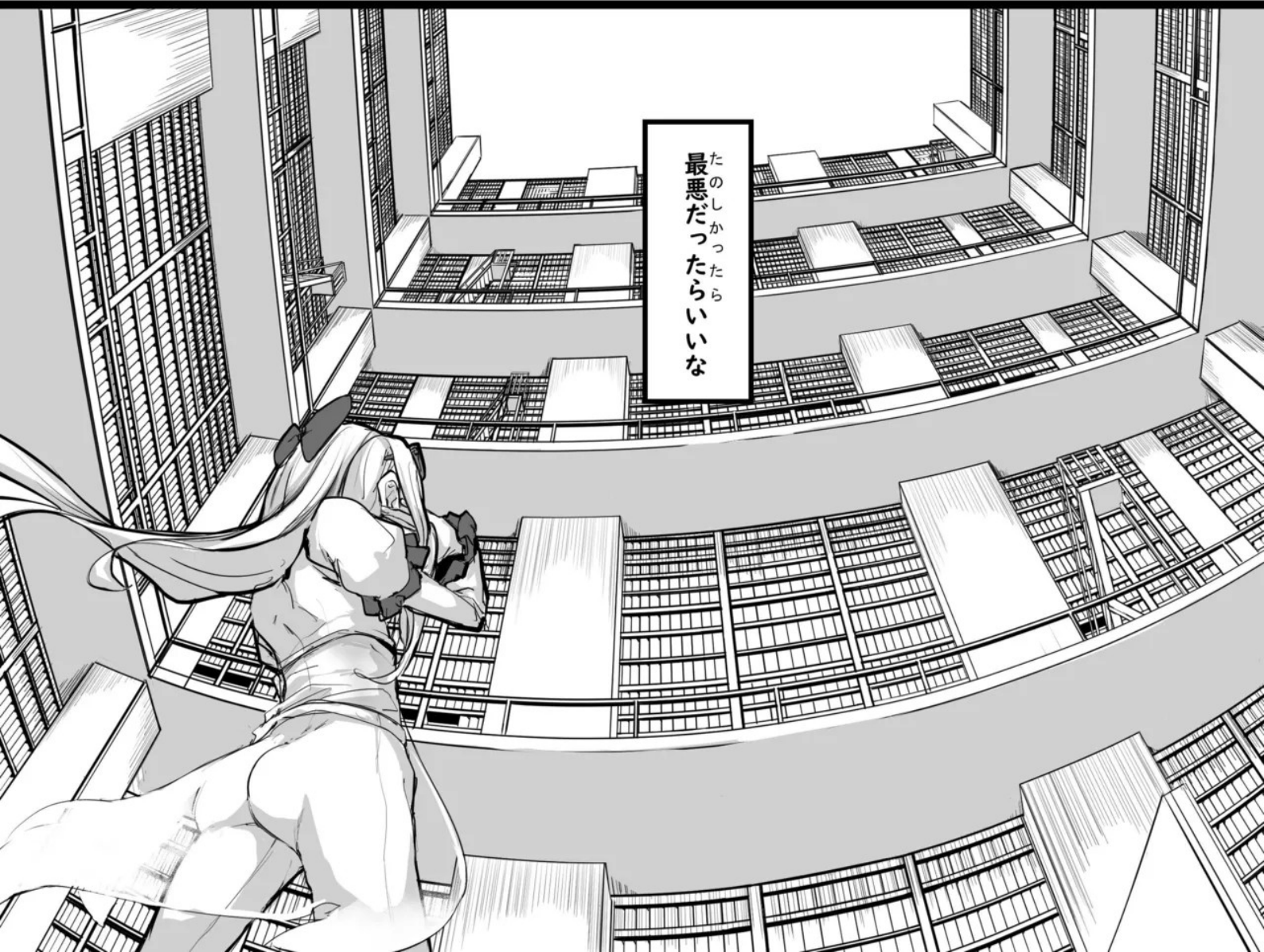
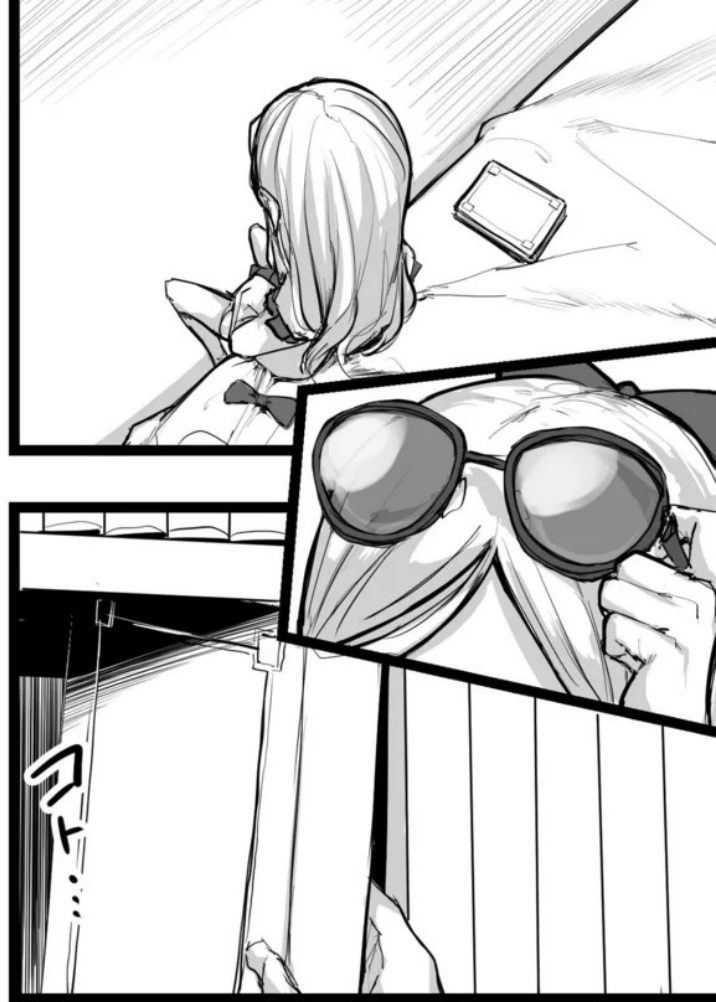
おめでとう






次はどうやって
終わるんだろう

私の人生は



たのしかったら
最悪だったらいいな



◆お手にとっていただきありがとうございます!

◆この物語はフィクションです。

実在する人物、団体、宗教とは関係ありません。

◆本書の転載、アップロード、複製を禁じます。

善意であっても本書を翻訳したものを不特定多数が
閲覧可能な場所にアップロードしてはいけません。

奥付
サークル：K2マンホール
発行人：P